

経理業務の実施主体		導入の背景					
専属部署・担当	経営者	経営者の公私分離	従業員の立替処理の効率化	従業員の立替による経済的負担の軽減	法人の支払い業務の効率化	法人の会計業務の効率化（帳簿作成効率化等）	資金繰りの改善

企業概要			
企業名	株式会社Wizleap		
所在地	東京都渋谷区神宮前2-34-17 住友不動産原宿ビル19F	従業員数	35名
設立	2017年2月	資本金	350,000,000円
事業内容	・Webサービス事業（お金の相談プラットフォーム「マネーキャリア」の運営） ・保険代理店事業（ペット保険の比較・相談「MOFFME」の運営） 等		

導入ソリューション	
ソリューション名	創業期　：カード会社（A社）発行のビジネスカード 拡大期　：銀行発行のビジネスデビットカード 成長期　：カード会社（B社）発行のビジネスカード
特徴	様々な経費の支払いに利用可能な法人向けクレジットカード（①③）・デビットカード（②）（※） ※デビットカードとは、支払いと同時に自身の銀行口座から引き落としがされる仕組みのカード



<お話を伺いました方>
代表取締役兼CEO 谷川 昌平 様

<日付>
2024年2月



【これまで】広告費の仕入れに関わる支払い等を役員の個人カードで決済していた

【導入のきっかけ】カード会社の営業担当から連絡を受けて、導入に至った

【導入時の苦労】当初は利用上限額が低く、利用し辛かった

【今後】現状は広告費の仕入れ等が主だが、今後は各部署の小口支払い等、決済範囲を拡大していきたい

導入背景・新たに発生した課題/得られた効果				
導入背景/ 新たに発生した課題	創業期	拡大期	成長期	
	経営者の公私分離	利用限度額が低い	資金繰りの改善	
	✓ 当初はCTOが個人のクレジットカードで決済をしていた。月締めのタイミングでクレジットカード明細から事業費・私費を仕訳する必要があり、面倒だった。	✓ 事業拡大に伴いカードの利用上限額を超過するケースが増えてきた。上限額を超える際は毎回、カード会社に事前連絡し、指定額を振り込む必要があり、面倒だった。	✓ 更なる事業成長を目指していく中で1回数千万円の仕入れが、月に複数回発生する場合もあった。高額な取引が増える中で、手元の口座残高より高額な支払い余力を得ることが重要になった。	
得られた効果	従業員の立替処理の効率化	限度額変更手続きの手間の削減	資金繰りの安定	法人の会計業務の効率化
	✓ ビジネスカードの導入により、立替経費分を逐次、個人のカード明細から抽出する必要がなくなった。	✓ ビジネスデビットカードを利用することで、引き落とし先の口座に十分なお金を入金しておけば、カード会社とのやり取りなく決済ができるため、便利になった。	✓ 創業期とは別のカード会社にて、カードを発行した。本カードの導入により、カードだけで資金繰りが可能となった。融資が不要になったことで融資に必要な銀行との諸手続きにおける負担から解消された。	✓ 管理者画面上で、証憑登録漏れのある支払いを特定できる等、経理処理がやり易くなった。経理処理の簡素化に伴い、私が行っていた経理業務を新たに採用した担当に引き渡せるようになった。